

クルーズサマリー

1. 航海情報

(1) 航海番号： KH-23-5

(2) 使用船舶： 白鳳丸

(3) 航海名称

北西太平洋の海溝域に生息する底生生物の生物相と進化過程の網羅的解明

(4) 主席研究員

小島 茂明 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

(5) 研究代表者

SH23-13 小島 茂明 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

(6) 研究課題名

SH23-13 北西太平洋の海溝域に生息する底生生物の生物相と進化過程の網羅的解明

SGS22-01 千島海溝の歴史地震によるタービダイト分布の調査

(7) 航海期間

2023/09/12 - 2023/10/02

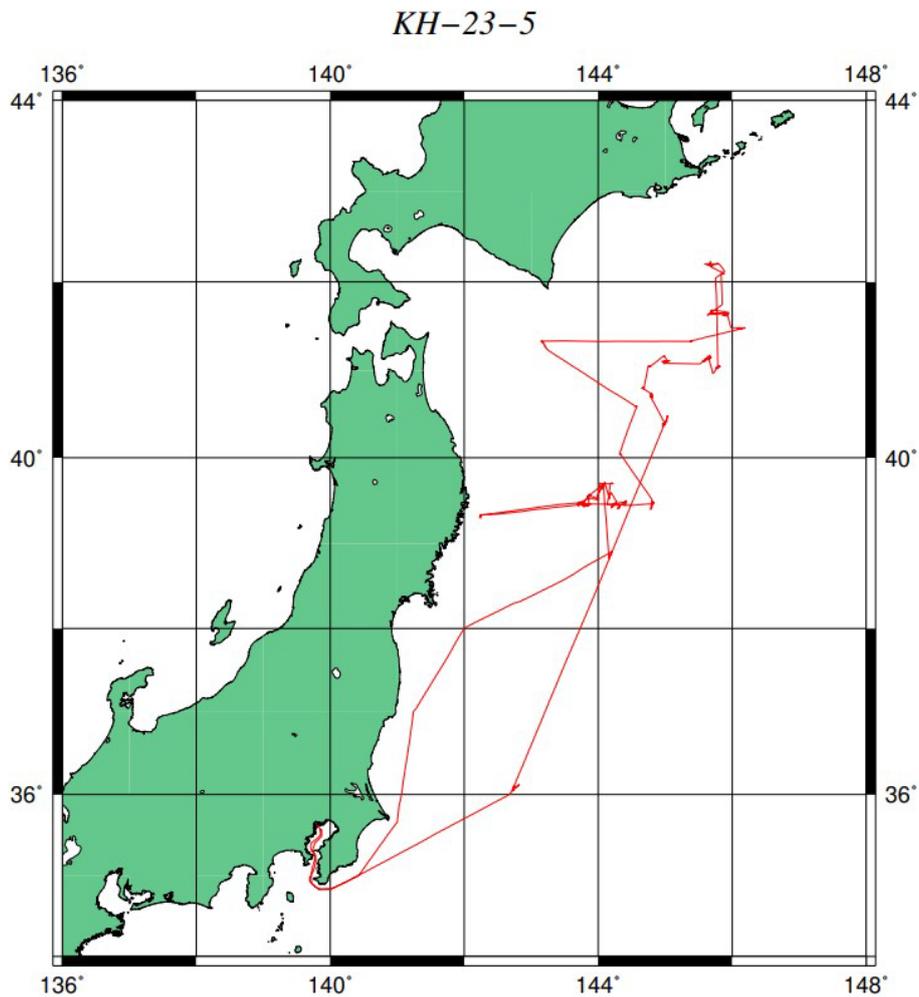
(8) 出港～帰港

京浜港東京区有明 MP 岸壁 - 台場ライナー埠頭 E 岸壁

(9) 調査海域

南部千島海溝および日本海溝周辺海域

(10) 航跡図



2. 調査概要

約 30 万年前に始まったとされる襟裳海山とその陸側にある別の海山の沈み込みにより隔離された千島海溝と日本海溝の深海生物集団の遺伝的分化や種分化を解析し、海溝域における生物進化の実態を解明することを目的に千島海溝最南部 10 測点および日本海溝の最北部 18 測点と中央部 1 測点で 4 m ビームトロール、3 m Agassiz 型ビームトロール、深海用そりネットによる底生生物採集をおこなった。採集した底生生物の形態分類と DNA バーコーディングにより生物相を把握し、DNA の塩基配列や SNP 解析により進化過程を解析する予定である。両海溝間の浮遊幼生分散を推定するため、9 測点で CTD および LADCP による物理環境測定をおこなった。深海堆積物中の微生物およびタービダイト分布を調査するため、4 測点でマルチプルコアラー採泥器による堆積物の採集をおこなった。